

# 「**嚴重警戒**」

## 第3波に入り、県民・事業者の皆様へのお願い

11月19日(木)

県内の感染状況は、第2波が落ち着きを見せ、9月18日から「警戒領域」で推移してきましたが、10月下旬から新規感染者数の増加が始まり、接待を伴う飲食店、職場や大学などでクラスターが相次いで発生し、21日に30人台、28日に50人台、11月7日に110人台、14日には150人台、本日過去最多の219人に達するなど、大変厳しい状況が続いています。

季節性インフルエンザの同時流行も懸念される「この冬」を、しっかりと乗り越えるため、県では、新たな受診・相談体制を整備したところでありますが、県民・事業者の皆様には、第3波に入ったとの認識の下、「嚴重警戒」として、以下の感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

### ① **基本的な感染防止対策の徹底**

- 「感染しない、感染させない」を徹底して下さい。
- 日頃から、3つの密が発生する場所を徹底して避けるとともに、マスクの着用、手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- 特に、飲食を伴う懇親会など、別紙1の「感染リスクが高まる5つの場面」では、感染防止対策の徹底をお願いします。  
さらに、年末年始は飲酒や会食の機会が増えることから、別紙2の「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を実践していただくようお願いいたします。
- タクシーやバス・電車等の公共交通機関では、常にマスクを着用し、大声での会話は控えて下さい。特に、飲酒後の乗車時には注意をお願いします。
- 大人数での会食や宴会は控え、カラオケやイベント、スポーツ観戦などでは、大声を出す行動を控えてください。
- 冬季においては、別紙3の「適切な室内環境を維持するポイント」を活用し、適切な温度・湿度等を保ちつつ、十分な換気を行って下さい。
- 発熱等の症状が出たときは、まずは、かかりつけ医等の地域の医療機関や、保健所に設置された「受診・相談センター」等に電話相談の上、県が指定した「診療・検査医療機関」を受診してください。
- 接触確認アプリCOCOAを、県民・事業者の皆様、オール愛知で活用し、検査の受診など保健所の早期サポートにつなげて下さい。

## ② 感染拡大予防ガイドライン等の徹底

- 全ての施設で、業種別の感染拡大予防ガイドラインや県の感染防止対策リストを遵守し、感染防止対策の徹底をお願いします。
- 事業者は、「安全・安心宣言施設」ステッカーを掲示し、利用者に施設の安全性と感染防止対策への協力を呼び掛けて下さい。
- 利用者は、ステッカー掲示施設など安全な施設を利用し、感染防止対策の徹底に協力をお願いします。

## ③ 高齢者等への拡大防止

- 重症化しやすい高齢者、基礎疾患のある方々、妊婦に配慮し、これらの方々も、感染リスクの高い施設の利用を避けて下さい。
- 特に、高齢者の方が多く利用する施設等では、高齢者を守る8つのポイントを遵守し、感染防止対策の徹底をお願いします。

## ④ 東京等への不要不急の移動自粛

- 首都圏・大阪府・北海道への不要不急の移動は控えて下さい。
- 感染が拡大している都市域への不要不急の移動はできるだけ控えて、自覚を持って適切な行動をお願いします。

## ⑤ 年末年始における感染防止対策の徹底

- 年末年始の時期は、人の移動が集中し、感染リスクが高まるので、感染症が拡大することのないよう、帰省や旅行の分散に協力をお願いします。  
事業者におかれても、従業員の休暇の分散取得に協力をお願いします。
- 「体調の悪い方」は、帰省や旅行を控えましょう。また、帰省先や旅行先で体調が変化した場合は会食や外出・観光は控え、感染拡大防止のためにその地域の保健医療当局に協力して下さい。
- クリスマス、大晦日、初日の出など、多数の人が集まる「季節の行事」に参加する場合は、人と人の距離の確保・マスクの着用・手指衛生・大声での会話の自粛など、「基本的な感染防止対策」を徹底して下さい。
- 公道など、主催者がいない場所で、不特定多数の人が密集し、大声等の発生を伴う行事、パーティー等への参加は控えて下さい。
- 街頭や飲食店での、大量または長時間・深夜にわたる飲酒や、飲酒しての季節の行事への参加は、なるべく控えて下さい。
- 家族同士で自宅で過ごす、オンラインのイベントに参加するなど、新しい「季節の行事」の楽しみ方を検討していただくなど、工夫をお願いします。

愛知県新型コロナウイルス感染症

厳重警戒

**感染防止対策の徹底**

**業種別ガイドラインの徹底**

**高齢者等への拡大防止**

**東京等への移動自粛**

**年末年始での対策徹底**

# 東京等への移動自粛

- 首都圏・大阪府・北海道への  
不要不急の移動は控えて

- 感染が拡大している都市域への  
不要不急の移動は、  
できるだけ控えて、自覚を持って  
適切に行動を



# 別紙1

# 感染リスク 高まる 5つの場面

## 飲酒を伴う懇親会等

狭い空間・回し飲みや箸などの共用に注意



## 大人数や長時間におよぶ飲食

大人数での会食や宴会・大声での会話を控える



## マスクなしでの会話

近距離での会話、昼カラオケ、車・バスでも注意



## 狭い空間での共同生活

寮の部屋やトイレなど共用部分での感染にも注意



## 居場所の切り替わり

休憩時間での気の緩み、休憩室・喫煙所・更衣室でも注意



## 別紙2 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

### 利用者

飲酒は ①**少人数・短時間**で、②なるべく**普段一緒**にいる人と、  
③**深酒・はしご酒**などはひかえ、**適度な酒量**で

**箸やコップ**は使い回さず、一人ひとりで

座の配置は**斜め向かい**に（正面や真横はなるべく避ける）

会話する時は、なるべく**マスク**着用

**ガイドライン**を遵守した「**安全・安心宣言ステッカー**」掲示店で

**体調**が悪い人は参加しない

### お店

お店は**ガイドライン**・県の**感染防止対策リスト**の遵守を

「**安全・安心宣言ステッカー**」を掲示し、利用者に留意事項の遵守や、**接触確認アプリ**COCOAのダウンロードを働きかける

## 別紙3 適切な室内環境を維持するポイント

### ■ 1. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気を
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で常時窓開け（窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！）
- 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により1000ppm以下を維持

### ■ 2. 適度な保湿（湿度40%以上を目安）

- 換気しながら加湿を（加湿器使用や洗濯物の室内干し）
- こまめな拭き掃除を